

第 8 章 健康危機管理体制

第 8 期 保健医療計画案(一部抜粋)

第 3 節 新興感染症を含む感染症

(3) エイズ・性感染症

現状・課題

県内では、平成 5 年から令和 4 年までの 30 年間で、エイズ患者は 39 名（男 35、女 4）、H I V 感染者は 53 名（男 49、女 4）の報告があり、近年はエイズを発症してからの報告が増えています。

エイズに関する治療の推進を図るため、エイズ治療拠点病院を指定しエイズに関する総合的かつ高度な医療を提供するとともに、保健所等において、無料・匿名による H I V に関する相談・検査（平日昼間・夜間）を実施しています。

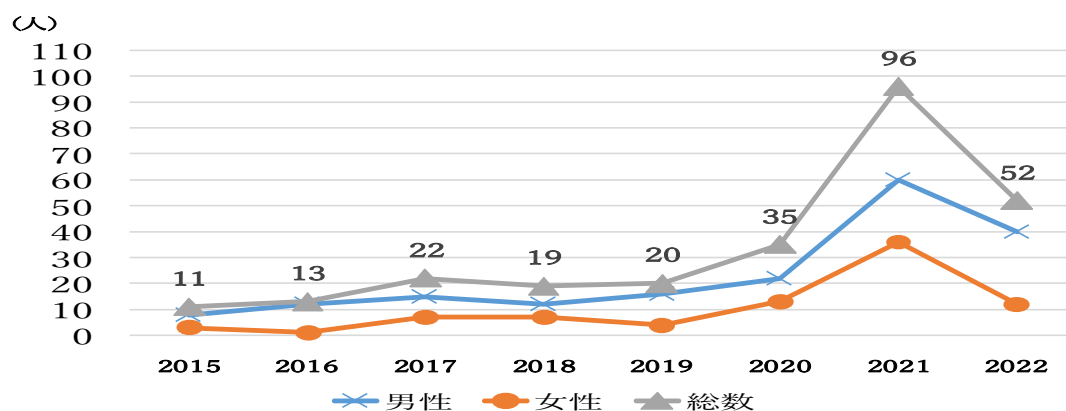
また、針刺し事故等が生じた場合に、H I V 感染防止のための予防薬を服用できる体制を整備しています。エイズその他、近年、梅毒等の性感染症も増加傾向にあり、公衆衛生上からも広く普及啓発を図り、予防法などの情報提供やパートナーに検査を勧めるなど、検査・相談体制の充実、強化を図ることが必要です。

(図表 8-3-11) エイズ患者・H I V 感染者数（平成 5 年から 5 年毎の計） 単位：人

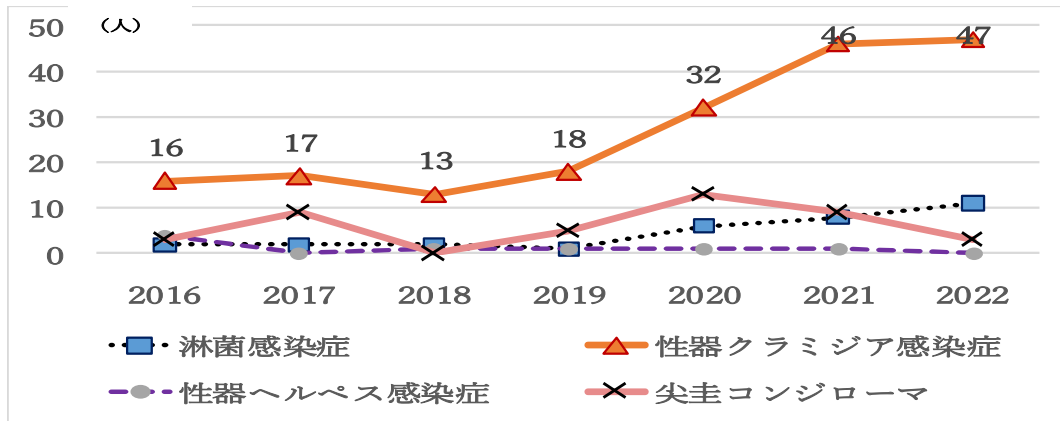
年度	H5-9	H10-14	H15-19	H20-24	H25-29	H30-R4	計
エイズ患者	1	3	6	6	16	7	39
HIV 感染者	3	2	11	8	15	14	53

出典：高知県健康対策課調べ

(図表 8-3-12) 梅毒の報告数



(図表 8-3-13) その他性感染症の報告数 (定点)



(図表 8-3-14) エイズ治療拠点病院及びH I V 予防薬配置医療機関

令和 5 年 4 月 1 日現在

保健医療圏	エイズ治療拠点病院名	H I V 予防薬配置医療機関
安芸	あき総合病院	あき総合病院 田野病院
中央	高知大学医学部附属病院 (中核拠点病院) 高知医療センター 国立病院機構高知病院	高知大学医学部附属病院 高知医療センター 国立病院機構高知病院 J A 高知病院 嶺北中央病院 高知赤十字病院 近森病院 細木病院 土佐市民病院 仁淀病院 高北国民健康保険病院
高幡		須崎くろしお病院 梶原病院 くぼかわ病院
幡多	幡多けんみん病院	幡多けんみん病院 四万十市立市民病院 大月病院

対策

保健所等で実施している無料検査や相談についてさらに広報を行い、夜間検査の実施回数を増加するなど、検査及び相談体制の一層の充実を図るとともに、思春期からのエイズ・性感染症に関する正しい知識の普及啓発を関係機関と連携して行います。

また、梅毒等の増加の現状や予防法に関する情報提供等を強化し、まん延防止の取組を推進します。

目標

区分	項目	直近値	目標値	直近値の出典
0	HIV 検査受検者数・相談件数	令和 4 年度 受検者数：259 件 相談件数：70 件	令和 11 年度 受検者数：350 件 相談件数：120 件	保健所報告 (4 半期毎) (高知県健康対策課調べ)